



第 7 6 回 渋川摂食嚥下研究会レポート

日時：令和 4 年 6 月 7 日（火）午後 7 時 00 分～
会場：渋川ほっとプラザ 4 階

講演：『1. フレイルとたんぱく質 ～たんぱく質、足りていますか～』
『2. 嚥下調整食の情報共有について』

講師：北毛病院 管理栄養士 渋澤 拓哉 氏

今回は「たんぱく質について」「嚥下調整食の情報共有について」の講演とさらに栄養補助食品についても紹介してしまおうという盛りだくさんの内容です。

1. 高齢になるとタンパク質が不足しがちになるということはこの研究会でもたびたび触れられていますが、管理栄養士の観点から「どの食材を選んだ方がより良いか」という説明がありました。例えば、①「絹とうふ」と「木綿とうふ」では同じ量でもカロリー・タンパク質の量が異なるので、どちらでも良い場合は「木綿とうふ」を選ぶとより多く摂取できる。②少量しか食べられない場合は間食でカロリー・タンパク質を取ることが大事だが、市販のカスタードプリンには卵を使用していない場合がある→カロリーはとれるがタンパク質摂取につながらないので要注意など。資料の最後についていたおすすめレシピも缶詰や電子レンジを使い簡単に調理できるようなものばかりでした。試してみたいです。講演の後に各メーカーさんから栄養補助食品についてご紹介いただきました。ご協力ありがとうございました。それぞれ違う活用方法がありそうなので上手に取り入れていきたいものです。

2. 嚥下調整食の情報共有についてですが、近年各病院・施設で嚥下調整食の呼び名が違うことによって、患者さん（利用者さん）が病院から施設、施設から病院に行った時に食事がたべられないといった問題が起こっています。



そこで、渋川圏域でも病院・施設間で情報共有を行い「食事がたべられない」という問題を解決しようということで栄養士会を中心としたメンバー（ミールネット渋川）が数年前から取り組んでおり、情報共有についての進捗情報を報告しました。近日中に具体化したいと思いますので病院・施設の（管理）栄養士、調理担当者の方には是非ご協力をお願いします。



参加者内訳

職種	参加人数
医師	3 (0)
歯科医師	5 (0)
薬剤師	1 (1)
保健師・看護師	10 (1)
歯科衛生士	3 (1)
ST・OT・PT	6 (2)
管理栄養士・栄養士	14 (4)
MSW/相談員	1 (1)
介護支援専門員	8 (5)
介護職員	8 (2)
その他	6 (2)
合計	65 (19)

※カッコ内＝（参加人数のうち Web での参加）

【次回 第 7 7 回 渋川摂食嚥下研究会の予定】

開催について：8 月 2 日（火）午後 7 時～ 渋川ほっとプラザ 4 階/WEB 同時配信予定

講演：「認知症患者の摂食嚥下と服薬支援について」（仮）

講師：老年病附属研究所 薬剤部長 橋場 弘武 先生

※新型コロナウイルス感染状況により、延期または中止となる場合がございます。